

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
みんなののうち玉山		2026 年 3 月 19 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・デイルーム（発達支援室）の広さや、庭の身近さもあり、活動範囲は広いと思う。	・場面に応じて机等の家具の配置や数なども調整したり、より機能的に空間調整を行っていく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	4	・基準配置数以上の職員配置を行っている。 ・発達支援室、静養室、室外で過ごす際に、十分に職員が付き添い活動できるよう、職員間の柔軟な調整を図っている。	・基準配置以上の職員配置を行っているものの、送迎方向や送迎回数の多さから配置上の不足感を感じることもあり、また、時間帯が重なることもあり、時折一人一人への十分な支援が行えていないと感じることもある。 ・静養室や室外で過ごす児童が多い場面等で職員の不足を感じることもある。 ・タイミングによっては個別の対応が難しい場面もあり、業務改善を図る必要性がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	・生活空間の機能的な整理等を行っており、今後もより一層、新規設備の導入等も含め、生活空間の改善、及び環境上の配慮に最大限努めていく。	・デイルームに入った際に最初に何をしたらいいか迷っている児童がいる。以前使用していた貼り紙（劣化のため一時取り外し中）を継続して使用した方がよいと感じる。 ・玄関等、バリアフリーにはなっていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	・こども達一人ひとりの活動に合わせた空間調整を適宜行っている。	・日々の清掃や整理等を通じて環境改善を図っているが、一層の改善が必要である。 ・畳への落書きが気になる他、砂壁の劣化が気になっており、改善が必要である。 ・時折、支援には必要でないものが置かれていたり、散らかっていたりすることもあり、児童も気にして触れることがあるため、環境整備が不可欠である。好ましくない環境等を早急に改善できるよう努めていく。 ・建物全体が古いため、隙間やカビ等が気になる箇所があり、改善していきたい。また、隙間風などで室内や床が冷えることがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・静養室や個々のスペース確保を図っている。	・静養室を一人で使用している場面も多く、どうしても他の児童が使えないことが多い。 ・今後より一層のスペース確保や環境調整を図っていく必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3	・定期的な職員会議や日々のミーティング等で業務改善のための検討の場を設けている。	・適宜ヒヤリハット報告書を記入しているが共有の仕方が未だ不十分であると感じる。 ・未回答／無回答 1 件
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・保護者向け評価表の調査結果を職員全体で共有し、要改善事項の検討を適宜進めながら一つずつ業務改善を図っている。	・交流会など行事開催を行っているものの、参加人数が伸び悩む場面や行事もあるため、どのような開催内容にしたらより多くの方にご参加いただけるかを考えていきたい。 ・調査後、一つ一つの改善に努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・会議では盛んに職員全員が発言している。 ・意見等の把握の機会を定期的に設けるよう努めていると同時に、そのための環境づくりにも努めている。	・意見交換や検討が途切れてしまうこともあるため、継続が必要である。 ・多様な意見等を発信しやすい環境づくりが必要であり、今後一層の改善を図っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・法人内の監査や自治体に実施いただく運営指導等の評価結果をもとに、より一層の業務改善に努めている。	・第三者が誰なのか分からない、経済的な面から実施できていない等、第三者機関による外部評価の実施実績がないため、透明性ある運営のために第三者機関による外部評価等の実施を検討していきます。 ・未回答／無回答 1 件
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・職員の資質向上のための事業所内研修等を中心に法人内外の実地及びWeb研修等も活用し、継続的に研修の機会を設けている。	・研修の機会を継続的に設けているが、これまで以上の機会の拡充や、さまざまな機会を通じた資質向上に一層努める必要がある。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・毎日行うことで児童にも定着し、実施内容を気にしたり、参加児童も以前より増えたと感じている。 ・みんなで案を出し合っている。	・個々の活動プログラムも含め、より一層の活動及び支援の充実を図っていきたい。

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・支援会議には全員が参加して、意見を出し合い、個別支援計画を作成している。 ・児童発達支援管理責任者が中心となって、個々のアセスメントやニーズ等の分析、及び支援計画の振り返りや見直しを行っている。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援者全員が個別支援計画の振り返り及び見直し等に携わり、個々の利用児様や保護者様のニーズをふまえ、必要な支援を検討し、実施できるよう努めている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	・計画策定時には改めて職員間の共有を行い計画に沿った支援を着実に行えるよう努めている。	・共有できていない時がある。共有はできていても、十分に行えていない。 ・一人ひとり満足にできないことがあるが、時間をもてる時は実践するようにしている。 ・共有は行っているが、十分に覚えることができていないことも多い。 ・共有はしているが定着づかない時もある。じっくりと実践できない日も多い。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・日々の行動観察記録の充実に努めながら、アセスメントを実施している。	・確認が不十分で把握しきれていないことがある。また、日々の行動観察を十分に記録に落とし込めていない時がある。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・個別支援計画において「本人支援」「家族支援」等の項目を個々のニーズに応じて個別具体的に設定し、多様なニーズの把握や支援内容の具体化に努めている。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・日々の様子から活動プログラム案を考え、活動の実施につなげている。 ・案を出し合い計画し活動を実施している。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・職員全員が主体となるようプログラム案をもらっている。 ・季節を感じられるようなものや、児童個々の発達や様子に応じて設定されている。 ・支援の5領域に基づく活動プログラム案を出し合っている。	・固定化しないよう工夫し考えていきたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・計画策定時には、個々のニーズに応じて両活動の目標を設定し、日々の支援においても柔軟に活動を実施している。	・個々に不十分な点もあり、今後より一層、活動の充実に取り組む必要がある。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	・支援開始前のミーティング時に打合せを行っている他、日々の支援やプログラム実施等に関する役割分担についても、適宜確認や連携を図っている。	・支援は行えているが、十分に連携がとれていなかったり、情報共有ができていない時がある。 ・ミーティングを行ってはいるが、途中離席することもあり、内容を把握しきれない所があるため全員が共有できるホワイトボードを増設するといっている。 ・日々のミーティングで確認をしているが、長期休みの時などにミーティングが不十分であったり、実施できていない時がある。 ・下校が早かったりすると、ミーティングが途中で終わってしまうことも多い。 ・ミーティングを極力行うようにしているが、長期休み等の期間は児童個々の振り返りミーティングが出来ないことも多い。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	・出るときは行えている方だと思う。	・木曜日に支援後ミーティングを行うと以前決めたが、利用児童予定等が重なったこともあり、未だ習慣化できていない。現状水曜日の夕方は退館前に職員全員が揃う時間が少しあるため、少しずつ支援後ミーティング等の機会を習慣化していきたい。 ・支援終了後は全員では出来ず、次の日のミーティング時に共有することが多い。 ・必ずしも実施出来ているわけではないが、内容によりその日に共有することもある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・日々の支援に際して、支援中に適宜記録を残している他、翌日のミーティング時に記録漏れや情報不足などを職員間で確認しながら補うよう努めている。	・細かく記録をとっている。以前難しかったことができるようになった等、他の児童との関わりの中での行動や会話のやり取りを適宜記録している。 ・その日に記録できていない時もあるので、当日に出来るだけ記録した方がよいと思う。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・児童発達支援管理責任者を中心に、モニタリングで何った内容をもとに職員間で支援の内容を検討し、必要に応じてその見直しを図っている。	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・個別支援計画への落とし込みや、放課後等デイサービスの運営に係るガイドライン研修等に基づき、4つの基本活動等の日々の支援への落とし込みに努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・声掛け等を通じて自分自身で選び、決めることが出来るように心がけている。	・自己決定や自己選択をしやすい言葉がけや答えやすい質問の仕方、コミュニケーションの図り方などを、より一層学ぶ必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理責任者を中心に、適宜個々の必要に応じてその他の職員も参画し、より細やかな情報把握と連携に努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・地域内外の他の障害福祉サービス事業所との情報連携や、教育機関等との継続的な連携構築に努めている。	・あまり関わる事が出来ないため分からない。 ・医療機関とは指示書以外での連携実績無。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・日々の情報共有や連絡調整を行っている他、適宜、各学校との情報交換会を行うなど支援目標に関する連携の機会も設けている。	・お手紙など、もらうことが出来ない学校もあるため、下校時間が変更しても分からないことが多い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		・就学前の様子などの情報共有会には行ったことがないため分からない。 ・現在は実施出来ていない、今後実施予定。 ・未回答／無回答 1件
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・高校での進級に伴い他の障害福祉サービス事業所を併行利用する児童様に関し、必要に応じて事業所間の情報連携を図っている。	・まだ卒業児童がいないため分からない。 ・前例がない。 ・未回答／無回答 2件
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		・参加したことがないため分からない。 ・現在はしていない。 ・未回答／無回答 3件
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		・子ども食堂等で地域の子ども達と関われる機会があるが、現在は一部の児童のみのため個々のご希望に応じて機会を増やしたい。 ・地域との交流の機会の創出に努めながら、時には少し課題があるようにも考えられる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・今年度盛岡市の自立支援協議会等へ参加。	・機会があれば参加してみたい。 ・未回答／無回答 2件
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時デで見られた様子を伝えることで家庭ではどのように過ごしているか話をしてくださる保護者様もいる。 ・日々の送迎やお迎え時にその日の様子等についてお伝えしている他、適宜必要に応じて具体的経過や支援内容について報告や共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・保護者等が参加できる研修等の機会がない ・家族交流会等の充実も図っていきたい。 ・個々の保護者様への家族支援や情報提供は必要に応じて細やかに行っているが、総合的かつ継続的機会は乏しく改善が必要である。
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時や規程等改定時には、丁寧な説明や質疑等への適切な応答に努めている。	・未回答／無回答 1件
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・個別支援計画の策定に際しては、児童発達支援管理責任者を中心に、適宜子ども自身の意思を尊重して意向を汲みながら、保護者様及びご家族の方々の意向をもとに、子どもと保護者双方の意思の尊重に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・個別支援計画策定時には改めて保護者様へ支援目標や支援計画の説明を行い、内容への同意を得て支援を実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・適宜相談あり、関係機関への同行実績あり ・家族等からの相談依頼、適宜適切な機会を設けて応えることが出来るよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	3	・「親子夕涼み会」や「親子運動ひろば」といった、保護者様やご家族の方々を招待する機会を設けているが、イベント自体の改善やさらなる機会の提供に今後一層努めていく。	・家族等との交流イベントへの参加率が少し悪く、もっと楽しめる案が必要だと思う。 ・交流の機会を設けても、なかなか参加していただけないこともある。 ・開催しているものの、参加率はまだ低く、開催内容の改善が必要であると感じる。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情等のお申し入れをいただいた際には、迅速かつ適切に対応できるよう努めていると同時に、再発防止のための体制整備等に法人本部等と連携して対応している。	

等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		・おたより等の更新が滞ってしまっている。 ・HPやSNSは一部開設されているが、運用の体制が未だ整備されておらず、更新が出来ていない。次年度中に改善予定である。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	・保護者様との会話の中で他児の名前などを出さないよう、注意しながら話している。 ・個人情報を含む資料は施錠の上で保管している他、取り扱いには十分に留意している。	・地域柄なのか、知り合い間でさりと個人情報聞かれると、曖昧な回答をしてしまうことがあるため、徹底して個人情報の保護に努める必要がある。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・情報伝達のための必要な配慮に関し、支援に係る研修を行うなど、支援の向上に努めている。 ・ルビ等、分かりやすい表現を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・事業所行事への招待等は未だ不十分であるが、事業外で実施及び参画している地域食堂や地域内の夏祭り出店等を通じて、事業所の紹介や地域住民との交流を図っている。	・放課後等デイサービス事業としては行っておらず、地域食堂や玉山夏祭りの機会に限定されている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・各マニュアルや指針の定期的な見直しや、それらに基づいた研修及び訓練を定期的に行っている。	・今後より一層の定期的な訓練の実施が必要であり、いざ事故や災害等の緊急事態が発生した際に落ち着いて行動できるようにする。 ・各種マニュアル等の家族への周知の機会を図っていく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	・机上訓練は定期的に実施出来ている。 ・小規模ではあるが、実際の場面を想定した避難訓練等も定期的に実施している。	・未だ十分に出来ていないため、改めて運用体制を見直し、より一層の研修及び訓練等の実施を図っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	3		・未だ個々の状態等に関し分からないこともあるため、職員全員で確認をしていきたい。 ・予防接種状況に関しては十分に把握出来ていなかった。 ・個々の服薬状況やアレルギー、発作等の有無について、個別支援会議などで全職員への周知を図っている他、適宜、研修及び訓練を実施しているが、より日常的な周知や日々の再確認、研修や訓練の充実が必要である。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		・指示書に基づく対応は行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			・全員で声をかけあい行うことが必要。 ・安全計画を策定し、年間管理項目を定めた上で安全維持に努めてはいるが、より一層の具体的な安全対策が必要である。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		・緊急時対応等、事業所と家族間の連絡等の方針が十分に確立されていないため、改めて事業所内検討を深め、家族等への周知徹底が必要不可欠である。 ・未回答／無回答 1件
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		・再発防止の意識づけに辿りついていないと感じる。記入のハードルを下げる必要性有。 ・今後、より一層取り組みを強化していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・県や協議会等が主催する虐待防止研修等の内容を事業所内研修にて落とし込み、小さなことから日々の見直しや改善につなげ、支援の質の向上を図れるよう、研修機会の拡充に努めている。	・より細やかで実践的な研修の充実に努める必要性があると同時に、今後、より一層のフォローアップ等も不可欠であり、さらなる改善に努めていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・身体拘束防止の目標のもと、保護者等への説明を行い、十分な了解を得た上で、やむを得ず身体拘束等が発生した場合には、適宜、保護者への報告と改善に向けた検討を行っている。	・より細やかな事例の検討や、身体拘束等の防止に関する研修及び訓練のさらなる充実が必要である。 ・未回答／無回答 1件